

# 第74期中間報告書

2020年4月1日～2020年9月30日



当社公式キャラクター  
あらびき星人ソップリン

おいしさ、ふれあい。  
**ピピマリム**

証券コード:2281



株主の皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

また、平素より格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、2020年4月1日から2020年9月30日までの当社グループの経営成績につきましてご報告申し上げます。

今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

2020年12月

代表取締役社長 **千葉尚登**

## 連結財務ハイライト

### ■ 売上高

**2,122億円**  
(前年同期比2.8%増)

■ 中間期 ■ 通期 (単位: 百万円)



### ■ 営業利益

**111億円**  
(前年同期比48.0%増)

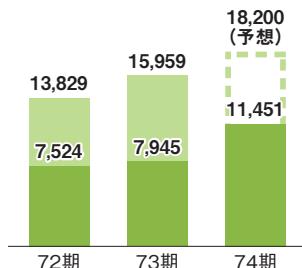
■ 中間期 ■ 通期 (単位: 百万円)



### ■ 経常利益

**114億円**  
(前年同期比44.1%増)

■ 中間期 ■ 通期 (単位: 百万円)



### ■ 親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益

**69億円**  
(前年同期比21.1%増)

■ 中間期 ■ 通期 (単位: 百万円)



※予想数値は、2020年10月30日決算発表時で入手可能な情報に基づくものであり、実際の業績は、事業環境などの変動により、予想とは異なることがあることをご承知おきください。

# 上半期営業の概況

## 上半期営業の概況

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の流行が収まる兆しが見えず、感染防止対策により経済活動を制限せざるを得ない状況が継続しております。経済対策としてGoToトラベルキャンペーンやGoToイートキャンペーンが実施され、需要喚起が図られておりますが、感染防止と経済復興の両立に苦慮が滲む難しい局面におかれています。国ごとに濃淡はありますが、世界各国も我が国と同様の苦慮を強いられている経済情勢です。

当業界におきましては、原料の輸入先である欧米のパッカーでの新型コロナウイルス感染症の拡大により、工場を閉鎖せざるを得ない企業やソーシャルディスタンスを維持するため、生産性が悪化する企業が断続的に発生し、出荷の遅れがなかなか取り戻せない状況が続いています。また、欧州でのアフリカ豚熱拡大懸念も先行きの供給面においての不安材料となっています。国内においても新型コロナウイルス感染症は収まる気配がなく、都心部にて再度飲食店の時短営業が開始される等、経済活動においては厳しい状況にあります。一時はテレワーク等が緩和されたものの、再度の感染拡大により、再びテレワークが増加する等、外出自粛による家庭内調理需要が増加したため、家庭用商品は食肉、加工食品とも順調に推移しました。一方、業務用商品は回復の兆しが見えつつあるものの、前期と比較すると低位の水準での販売が続いています。また、個人の景況感は、テレワーク等の働き方の変化により、残業代等の現金収入が減少すること、自宅待機の休業補償による収入の減少や解雇等により、消費支出は低下したままです。

このような状況のなか、当社グループは食品企業として得意先、消費者の皆様のご要望にお応えするため、感染予防を徹底し商品を提供し続けることができるよう、努力してまいりました。また、目指す姿である「健康で豊かな食生活を創造するために安全・安心な商品を提供し、社会と食文化に貢献していく」という考えを基本に、中期経営計画の目標の達成に向けて、「コーポレート・ガバナンス強化とCSR推進による継続的な経営革新」のもと「事業領域の拡大と収益基盤の更なる強化」と「成長市場に向けた事業創造とグローバル展開」を基本方針と位置づけ、諸施策を講じてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高2,122億26百万円(前年同期比2.8%増)、営業利益111億48百万円(前年同期比48.0%増)、経常利益114億51百万円(前年同期比44.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益69億57百万円(前年同期比21.1%増)となりました。

## セグメント概況

### ●加工食品事業部門

#### 〈ハム・ソーセージ部門〉

巣ごもり需要により、家庭での料理機会が増え、「香薫<sup>®</sup>あらびきポークウインナー」や「角切りベーコン」を筆頭にバリエーションを持たせたベーコン群、おつまみ需要としてのドライ商品や生ハム等も好調に推移しました。新型コロナウイルス感染症の拡大により、東京ディズニーリゾート等のイベント関連業種は再開こそしましたが、来場者を制限する対応で完全再開とはならず、当社の東京ディズニーランド<sup>®</sup>貸切プレシャスナイトへのご招待キャンペーンの延期や、様々なキャンペーンを中止または変更せざるを得ない状況でした。しかしながら、Web商談や電話での商談、対面商談も人数を制限したりする等、得意先の要望に応じ日々の営業活動を工夫し、販売を進めてまいりました。また、工場においては感染予防を徹底した中での生産活動でも、生産性向上のための改革・改善を継続実施し、人時生産性向上やユーティリティコスト削減などを推進し、コスト競争力を着実に高めてまいりました。その結果、ハム・ソーセージ部門においては、売上高、販売数量とも、前期を上回りました。

#### 〈加工食品部門〉

加工食品部門でもハム・ソーセージ部門同様、「直火焼ハンバーグ」等の家庭用ハンバーグ群やプリマヘルシーのバリエーションを増加した「サラダチキン」や「スパイススティック」、「絶品点心春巻」などの商品が好調に推移しました。しかし、業務用全般については、厳しい状態が続いたことから、加工食品全体としては、売上高、販売数量とも前期を下回りました。

コンビニエンスストア向けのベンダー事業については、新商品拡大とエリア拡大により売上高は前期を上回り、利益面においても生産性の改善や原材料価格の安定も寄与したことから前期を上回りました。

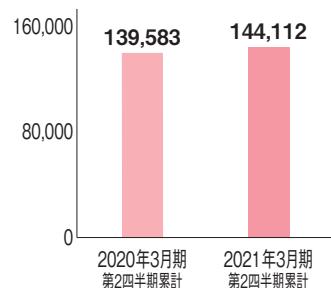
結果、加工食品事業部門における売上高1,441億12百万円(前年同期比3.2%増)となり、セグメント利益91億21百万円(前年同期比34.9%増)となりました。

### ●食肉事業部門

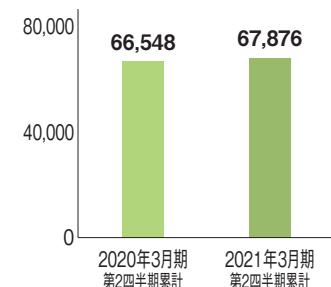
国際的な仕入れ競争激化や新型コロナウイルス感染症の拡大により、食肉の仕入れ環境は極めて厳しいものとなりましたが、巣ごもり需要に対応し小売チャネルへの安定供給に注力いたしました。同時に、オリジナルブランド商品の拡販や得意先の新規・深耕開拓も積極的に行い、食肉の売上拡大に努めてまいりました。利益面におきましては、営業事業は得意先別の収益管理を徹底する中で、無理な販売を抑制するとともに、在庫を適正に管理する利益重視の販売政策を展開してまいりました。さらに、国産豚生産事業を中核事業として成長拡大を図る生産事業におきましても、国産豚肉相場が高値で推移したこと及び農場成績向上と加工生産性向上の推進により、安定した利益を確保することができました。その結果、食肉事業部門においては、売上高、利益面ともに、前期を上回りました。

結果、食肉事業部門における売上高678億76百万円(前年同期比2.0%増)となり、セグメント利益19億64百万円(前年同期比207.2%増)となりました。

加工食品事業部門(売上高) (単位:百万円)



食肉事業部門(売上高) (単位:百万円)



## 中期経営計画基本方針

営業力・開発力・商品力の強化により、  
売上と利益の規模と質を高め、ESGを重視した経営を推進し、  
「いつも、ずっと、お客様に愛され、支持される会社」になる。

### 1 コーポレートガバナンス強化とCSR推進による継続的な経営革新

- 品質保証体制の強化
- 環境保全、法令順守、内部統制、情報の充実
- 人材育成、職場環境、変革意識の醸成

### 2 既存事業の領域拡大および収益基盤の更なる強化

- 事業基盤の強化
- 成長領域への取り組み
- 消費者視点での商品政策(差別化・高付加価値)

### 3 成長市場に向けた事業創造とグローバル展開

- 伊藤忠商事とのコラボレーションを主体とした国内外事業展開
- 革新的技術の開発・導入
- グループ会社との連結経営強化

ROE  
10%以上

自己資本比率  
40%以上

配当性向  
30%以上

## ■連結損益 中期計画(ローリングプラン)

単位:億円

	2020年3月期 実績	2021年3月期計画		2022年3月期 計画	2023年3月期 計画
			修正発表数値		
連結売上高	4,180	4,410	4,358	4,570	4,700
営業利益	156	145	179	156	163
経常利益	159	146	182	158	167
当期純利益 <sup>注)</sup>	88	89	113	102	107
設備投資額	134	152	—	163	177
減価償却費	97	99	—	105	110
ROE	10.0%	9.4%	—	10.1%	10.0%
ROIC	9.7%	9.0%	—	9.3%	9.5%
資本コスト(WACC)	4.2%	4.2%	—	4.2%	4.2%
EBITDA	252	245	—	265	278

注) 当期純利益は、「親会社株主に帰属する当期純利益」

# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前期末	当第2四半期末	科 目	前期末	当第2四半期末
	2020年3月31日現在	2020年9月30日現在		2020年3月31日現在	2020年9月30日現在
<b>資産の部</b>			<b>負債の部</b>		
<b>流動資産</b>	87,310	93,370	<b>流動負債</b>	68,171	71,042
現金及び預金	13,907	15,075	支払手形及び買掛金	44,988	48,158
受取手形及び売掛金	42,305	43,488	短期借入金	265	626
商品及び製品	14,551	16,115	1年内返済予定の長期借入金	3,432	3,462
仕掛品	2,882	2,955	未払法人税等	3,733	3,595
原材料及び貯蔵品	2,332	2,343	賞与引当金	1,427	1,654
預け金	10,006	12,014	役員賞与引当金	30	—
その他	1,326	1,380	その他	14,293	13,545
貸倒引当金	△2	△2	<b>固定負債</b>	30,225	28,807
<b>固定資産</b>	111,220	112,909	長期借入金	19,639	18,043
有形固定資産	89,259	89,775	役員株式給付引当金	31	48
建物及び構築物(純額)	49,168	49,346	退職給付に係る負債	4,713	4,806
土地	18,742	18,889	資産除去債務	363	365
その他(純額)	21,348	21,538	その他	5,476	5,543
無形固定資産	1,146	1,418	<b>負債合計</b>	98,396	99,849
投資その他の資産	20,814	21,716	<b>純資産の部</b>		
投資有価証券	5,248	6,029	株主資本	86,010	90,953
退職給付に係る資産	9,621	9,830	資本金	7,908	7,908
その他	5,966	5,875	資本剰余金	8,600	8,601
貸倒引当金	△21	△19	利益剰余金	69,911	74,855
<b>資産合計</b>	198,530	206,280	自己株式	△409	△411
			<b>その他の包括利益累計額</b>	4,562	5,086
			その他有価証券評価差額金	1,567	2,145
			繰延ヘッジ損益	△81	△26
			土地再評価差額金	2,518	2,518
			為替換算調整勘定	△36	△50
			退職給付に係る調整累計額	594	499
			<b>非支配株主持分</b>	9,561	10,390
			<b>純資産合計</b>	100,134	106,430
			<b>負債純資産合計</b>	198,530	206,280

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期 自2019年4月1日 至2019年9月30日	当第2四半期 自2020年4月1日 至2020年9月30日
売上高	206,400	212,226
売上原価	173,813	175,983
売上総利益	32,587	36,243
販売費及び一般管理費	25,055	25,094
営業利益	7,531	11,148
営業外収益	558	457
営業外費用	145	154
経常利益	7,945	11,451
特別利益	2,390	193
特別損失	111	498
税金等調整前四半期純利益	10,224	11,147
法人税等	3,349	3,349
四半期純利益	6,874	7,797
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,127	840
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,747	6,957

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期 自2019年4月1日 至2019年9月30日	当第2四半期 自2020年4月1日 至2020年9月30日
営業活動による キャッシュ・フロー	8,009	12,980
投資活動による キャッシュ・フロー	△1,063	△6,137
財務活動による キャッシュ・フロー	△4,630	△4,279
現金及び現金同等物に係る 換算差額	5	—
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	2,322	2,564
現金及び現金同等物の 期首残高	13,732	22,214
現金及び現金同等物の 四半期末残高	16,054	24,778

## 「統合報告書2020」「ESGデータブック2020」の発行

株主様・投資家様をはじめとするステークホルダーの皆様によりマサムグループの目指す姿を実現するために、どのようなリスクや機会があるのかを中長期的な視点で把握し、施策を講じるため、「統合報告書2020」に加え、「ESGデータブック2020」を発行いたしました。



## CM

当社はイメージキャラクターに土屋太鳳さんを起用し「香薫®あらびきポークウイナー」のCMをはじめ、ギフトパンフレットにも登場いただきました。

土屋太鳳さんには、現在ポスター、パネル等様々な販売促進ツールにも登場いただいております。



販売促進  
活動

## 東京ディズニーリゾート® ご招待キャンペーンの実施

贈られたあの方はもちろん！  
贈るあなたにもチャンス！

プリマハムの 匠の膳 であらびきポークウイナー

もう一つの喜び  
Wプレゼントキャンペーン

**A** 東京ディズニーリゾート® パークチケット(ペア) 抽選で150組 300名様

**B** JCBギフトカード 10,000円分 抽選で300名様

※有効期間はおよそ1年間です。

ご応募について「匠の膳」をお受け取りになった方が、商品に同梱されている応募応募ハガキが必要となります。ご応募された場合は、「匠の膳」を贈った方と受け取った方の双方に景品を送付いたします。

※応募期間：2021年1月10日(日) ※抽選日：2021年1月10日(日) ※抽選結果発表：2021年1月10日(日) ※抽選結果発表場所：東京ディズニーリゾート® 各アトラクションの待合エリアにて発表いたします。

※お問い合わせ先：03-3549-1186

当社では、東京ディズニーランド®、東京ディズニーシー®のオフィシャルスポンサーであることを活かし、「ハッピーハロウィーンキャンペーン」やお歳暮ギフトセット(匠の膳)で「もう一つの喜びWプレゼントキャンペーン」を展開しております。

## 販売促進 活動

# 「スモールワールズ TOKYO」のオフィシャルパートナー

当社は2020年6月11日に東京・有明にオープンいたしました「スモールワールズ TOKYO」のオフィシャルパートナーとなりました。

この「スモールワールズ TOKYO」は世界最大級の屋内型ミニチュアテーマパークで、当社公式キャラクターあらびき星人ソップリンが働く工場等も展示されております。

今後も新たなテーマパークとしての強みを活かし、様々なキャンペーンを展開してまいります。

当社公式キャラクター  
あらびき星人ソップリン



## 株主優待制度

株主の皆様の日頃からのご支援に感謝するとともに、当社株式への投資の魅力を高め、より多くの方々へ長期的に当社株式を保有していただき、当社事業に対するご理解をより深めていただくことを目的に株主優待制度を導入しております。

### ●対象となる株主様

毎年9月30日現在の株主名簿に記載された、200株以上保有されている株主様が対象となります。(2018年10月1日付にて5株を1株に併合)



イメージ

## 中間配当

当社は、株主の皆様への利益還元機会を充実させることを目的に9月30日を基準日とする中間配当を実施しております。当期の中間配当は、1株当たり20円となっております。

### ●当期の効力発生日

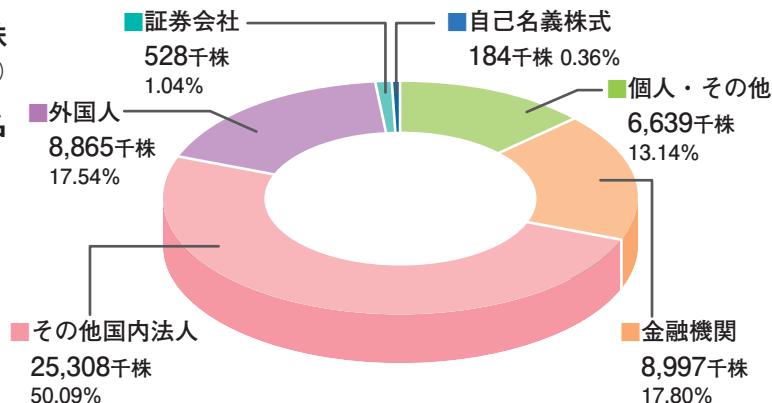
2020年12月1日

## 株式情報(単体)

(2020年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 **70,000,000株**
- 発行済株式総数 **50,524,399株**  
(自己株式184,160株)
- 株主数 **18,599名**

### ●所有者別株式分布状況



### ●大株主

大株主名	持株数	持株比率
伊藤忠商事株式会社	20,847千株	41.26%
伊藤忠食品株式会社	2,262千株	4.47%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,150千株	4.25%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,463千株	2.89%
BBH FOR FIDELITY PURITAN TR:FIDELITY SR INTRINSIC OPPORTUNITIES FUND	1,250千株	2.47%
学校法人竹岸学園	908千株	1.79%
株式会社サンショク	800千株	1.58%
農林中央金庫	713千株	1.41%
BBH FOR UMB BANK, NATIONAL ASSO-PEAR TREE POLARISVAL SM CAP FD	712千株	1.40%
株式会社日本カストディ銀行(信託口5)	653千株	1.29%

※持株数千株未満切り捨て、持株比率小数第3位以下切り捨てで表示しております。

※当社普通株式は、2018年10月1日付にて5株を1株に併合しております。

## 会社概要

(2020年9月30日現在)

### ■ 会社概要

商号	プリマハム株式会社 Prima Meat Packers, Ltd.
本社	〒140-8529 東京都品川区東品川4丁目12番2号 TEL:03-6386-1800
代表者	代表取締役社長 千葉尚登
事業内容	ハム・ソーセージ、食肉および 加工食品の製造販売
創業	昭和6(1931)年9月1日
設立	昭和23(1948)年7月9日
資本金	79億8百万円
従業員数	1,925名
支店等	東北支店(宮城)・関東支店(東京)・中部支店(愛知)・ 関西支店(大阪)・中四国支店(広島)・九州支店(福岡)
工場	北海道工場・茨城工場・三重工場・鹿児島工場
物流センター	関東物流センター(茨城)・三重物流センター・ 福岡物流センター
研究機関	基礎研究所(茨城)・ 製造・技術部(機械開発担当部門)(茨城)
グループ会社	34社

### ■ 役員

代表取締役社長 社長執行役員	千葉尚登
取締役	鈴木英文
取締役	鯛健一
取締役(社外)	山下丈
取締役(社外)	井出雄三
常勤監査役(社外)	佐藤功一
常勤監査役(社外)	下澤秀樹
監査役	相馬謙一郎

## 表紙について

本報告書の表紙で使用している写真は、当社がオフィシャルパートナーを務める屋内型ミニチュア・テーマパーク「SMALL WORLDS TOKYO」の様子を撮影したものです。

当社公式キャラクター  
あらびき星人ソップリン



## 株主メモ

- **事業年度**  
毎年4月1日から翌年の3月31日まで
- **定時株主総会**  
毎年6月に開催いたします。
- **基準日**  
定時株主総会の議決権 3月31日  
期末配当 3月31日  
中間配当 9月30日  
その他、必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。
- **単元株式数**  
100株
- **株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関**  
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社
- **お問い合わせ先・郵便物送付先**  
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
  - ・ **住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申し出先について**  
株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。  
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。  
電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
  - ・ **未払配当金の支払について**  
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。  
電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
- **公告の方法**  
電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、東京都において発行する日本経済新聞に掲載して行います。

## プリマム株式会社

東京都品川区東品川4丁目12番2号 品川シーサイドウエストタワー 〒140-8529

電話 03-6386-1800

<https://www.primaham.co.jp/>

